

令和6年度大谷場中学校だより



# おおやば

## 第3号

令和6年5月31日(金)発行

学校教育目標

「より高く、より広く、より深く、より強く」

さいたま市立大谷場中学校

〒336-0016 さいたま市南区大谷場2-13-54

TEL : 048-882-9962 FAX : 048-811-1336

WEB : <https://oyaba-j@saitama-city.ed.jp/>

MAIL : oyaba-j@saitama-city.ed.jp

学校WEBページ  
QRコード



### 「体育祭の成果を今後に生かす」

校長 八坂和典

梅雨入りを間近に迎え、桜・花水木・つつじから紫陽花へと移り変わる花々の美しさに目が留まります。5月は長い連休があり、授業日数が少なかったのですが、1年生三者面談、体育祭、引き渡し訓練、中間テストと行事が目白押しで、4月以上に慌ただしく過ぎ去って行きました。6月もさいたま市中学校総合体育大会や3年生修学旅行、期末テスト等が控えており、祝日が唯一無い6月ということで、一層慌ただしくなりそうです。



さて、5月18日(土)に晴天のもと、体育祭が行われました。新年度から1ヶ月たらず、さらに連休等もあり、なかなか練習時間が取れない中、限られた時間を有効に使い、競技力向上や学級等のチームワークを高め、そして何よりも思い出に残る最高の体育祭にしようとする気持ちを持って、体育祭に臨んでくれました。今年度、体育祭スローガンの「百花繚乱」のごとく、本番当日、全生徒がそれぞれの花を美しく咲かせることができたとともに、それぞれの学級の団結や絆という大輪の花を咲かせることができた素晴らしい体育祭となりました。このような素晴らしい体育祭となった要因を私は次のように考えました。

- 一、全生徒、全教職員で素晴らしい体育祭にするという思いを共有し、生徒、教職員が競技やパフォーマンス、係の仕事、仲間の応援等、全力で頑張ったこと。
- 二、一生懸命頑張っている仲間を認め、失敗しても励ますなど、心を込めて応援し、サポートできたこと。
- 三、勝敗についてしっかりと受容し、勝利の時には慎みを忘れず、また、敗戦も誇りある態度で受け入れる等の態度で全競技に臨めたこと。競技する相手をしっかりとリスペクトできていたこと。
- 四、体育祭に参加するすべての人が、体育祭参加にあたってのマナーやルールをしっかりと守れたこと。

体育祭で得た成果は、学校としても大変価値あるものですが、生徒の皆さん一人一人にとっても自分の成長や自信につながる大変価値があるものです。生徒の皆さん、今回の体育祭で得た自信や成長をこれからの学校生活や日々の生活の中でしっかりと生かしてください。例えば、6月1日(土)から行われる3年生最後のさいたま市中学校総合体育大会。体育祭で学んだ、自分を信じ、仲間を信じ、全力で頑張ることを様々な場面で、立場に関係なく発揮してください。大会に選手として出る生徒もいれば、選手のサポートや応援が中心の生徒もいることでしょう。大切なことはチームで一つの目標に突き進んでいる中で、今の自分がチームに対して何ができるのかを考え、全力で取り組むこと、まさしく、体育祭成功のために競技だけでなく、係の仕事や応援などに全力で取り組んだ皆さんの姿を発揮する場面となります。

6月は「いじめ撲滅月間」です。仲間を認め、そしてよさをたくさん見つけること、失敗しても励まし、応援すること、そして、仲間をリスペクトすること、このような気持ちが日常の中で皆さん一人一人の中に現れてくれば、いじめはこの学校から無くなるはずで。皆さん一人一人の成長は無限大です。自分自身が得た力を様々な場面で発揮し、自分や仲間の幸せへと繋げて欲しいと願っています。

最後になりましたが、体育祭にご参会いただきました来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様、暑い中応援をありがとうございました。少しずつですが生徒は様々な経験を通して、たくましく成長しております。保護者の皆様方におかれましてはお子様の「よさや頑張り」をたくさん見つけていただきこれからも子どもの一番の応援者として見守っていただければと思います。6月1日(土)からはさいたま市中学校総合体育大会です。保護者の方におかれましても「フェアプレー」の精神で温かい応援をお願いします。